

## 第2回 令和プロテクト・トーク「消防関係機関と市長の対話」

要約

日時：令和7年1月28日（火） 17:55～18:40

場所：薩摩川内市消防局2階多目的ホール

出席者：消防関係4機関（20名）

- 薩摩川内市：田中市長・上戸市民安全部長・遠矢市民安全部次長
- 薩摩川内市消防局：石原消防局長・前田消防総務課長・上園警防課長・事務局3名
- 薩摩川内市消防団：小牧消防団長・宮里団本部副団長・石塚中央大隊長  
山本西部大隊長・西東部大隊長・平嶺上甌大隊長・下野下甌大隊長  
山ノ内団本部本部員・中満活動活性化等委員長
- 消防後援会連合会：加治屋副会長・外菌事務局長

### ■あいさつ 田中市長

12月28日と29日の年末警戒、1月5日上甌会場、下甌会場の出初式、1月11日本土会場の出初式に参加し、気持ちを新たにしているところである。

2月の予定として、2月8日に第15回鹿児島県女性消防団員研修会が実施され、2月中旬には国主催の原子力防災訓練が、12年ぶりに川内原子力発電所で開催される。国主催の原子力防災訓練は非常に大きな訓練、出来事だと考えている。

4月からは新しい定数で薩摩川内市消防団の発足となる。また、北薩3消防本部指令センターについても、最終的な点検段階に入っている。指令センターは薩摩川内市の消防行政にとって、画期的なこととなっている。

令和7年度も令和プロテクト・トークの枠組みのなかで、情報共有・情報公開していきたいと考えている。

### ■協議 座長：田中市長

#### 1 消防団員の防災士資格取得について

今年度、消防団員の防災士資格取得に掛かる費用について予算措置がなされ、団本部員や分団長等56名が資格取得をした。既に資格取得済みの団員と合わせると60名が資格所有者となった。来年度も資格取得者を増やし、地域防災に必要な知識の習得を行いたい。

#### 2 薩摩川内市消防団の組織再編について

令和プロテクト・トークや消防団幹部会議等において、これまで取り組んできた消防団の組織再編について、中長期的に持続可能な消防団組織の再編を図り、定数について地域の実態や特性等を勘案し、現行の「1,308人」を「1,182人」に改正した。また、「機能別団員」についても、これまで避難所運営支援を主たる活動としてきたが、減少が続く基本団員を補完するため、火災対応や大規模災害時に活動できる機能を持たせるなど、機能の強化を図った。

#### 3 薩摩川内市消防団表彰制度の改正について

消防団員の表彰制度について、階級や勤続年数により様々な表彰があるが、団員の更なる意欲向上を図ることを目的として、市長表彰及び薩摩支部長表彰にそれぞれ勤続35年、45年表彰を追加するよう規則等の改正を行うこととなった。

#### 4 消防団員退職報奨金の勤務年数区分の追加について

消防団員等公務災害補償等共済基金等が市町村に支払う消防団員退職報償金の勤務年数区分がこれまで「30年以上」までだったものが、今回新たに「35年以上」の区分が追加され、消防団員の処遇改善が図られた。

## 5 来年度のRTPの取組みについて

来年度においても関係4機関において、引き続き消防団員確保や処遇改善等に取り組むこととなった。

## 6 その他

令和7年4月1日に運用を開始する「北薩3消防本部指令センター」の説明



市長あいさつ



トークの様子